

うたづ 議会だより

2015
第54号
4.1
香川県宇多津町

祝卒園

町立宇多津幼稚園修了式

みんな希望を胸に、大きな
声で歌いました

平成27年 第1回定例会

町政を問う（一般質問に9人）

子ども議会・応援しようでえ～

2

4

14

小中学校に太陽光発電設備



平成27年 第1回定例会

平成27年第1回定例会は3月9日から20日まで開催し、議案25件、同意1件、発議1件を審議しました。本会議において、原案を全て可決および同意しました。一般質問は3月10日、11日に行ない、議論を交わしました。

主な内容

補正予算

平成26年度宇多津町一般会計補正予算
(2億4450万円 減額)

全会一致で可決

- ・宇多津町総合戦略策定事業費
平成27年度から5年間の総合戦略を策定
- ・新宇多津都市活性化事業費
新都市の活性化を推進するための事業費
- ・新婚世帯家賃補助金
民間賃貸住宅に新婚世帯が住む場合に、月額1万円の補助
- ・不妊治療助成金
不妊治療をする人に10万円の助成
- ・宇多津プレミアム商品券補助金
国、県の補助を含め、商工会を通じて3060万円の補助
- ・アロハナイトイベント事業費
現在1日の開催を2日間

27年度予算

平成27年度宇多津町一般会計予算
(66億1700万円)

全会一致で可決

- ・分庁舎用地取得および建設費と庁舎耐震改修費
- ・宇多津町のプロモーションビデオの作成費
- ・こめっせ宇多津の屋根の葺き替え工事費
- ・中央保育所の外壁や外部階段などの改修および男女別トイレの新設工事
- ・30基の太陽光発電システム設置の助成金
- ・坂下地区の地籍調査費
- ・大橋地区上水道老朽管布設替工事費
- ・19か所の橋梁の調査委託料
- ・6号公園(ゴリラ公園)の遊具の更新費
- ・総合防災マップの作成費
- ・宇多津小学校、北小学校、中学校に太陽光発電設備の工事費
- ・北小学校の1階便所の改修工事費
- ・ユーフラザ北側駐車場の土地を土地開発公社から購入

条例改正など

・宇多津町債権管理条例の制定

全会一致で可決

（要旨）町の債権の管理に関する事務処理に必要な事項を定めることにより、債権の管理の適正を期し、負担の公平性をより確実なものとする。この条例は町の全ての債権を対象としている。また、台帳の整備を行なう。

・宇多津町介護保険条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

（要旨）平成27年度から29年度までの介護保険税率を設定する。現状の介護保険料標準額の1か月5075円が3300円となる。県下の平均は1か月5636円である。

・宇多津町企業誘致条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

（要旨）誘致企業に対し交付する助成金の算定率などについて、香川県および近隣自治体に比べ本町が低い状況にある。そのため、他自治体と均衡を図りつつ本町における経済の発展および雇用機会の拡大に資することを目的とする。また、今まで助成金の対象地域を番の州地区と浜の区域に限定していたが、町内全域を対象とした。

・香川県広域水道事業体設立準備協議会の設置

全会一致で可決

（要旨）広域水道事業体の設立のための連絡調整および広域的な水道事業の計画の共同作成を行なうために準備協議会を設置する。本町は職員1名を派遣する。

本会議 議員の賛否

○ 賛成 × 反対 欠 欠席（議長は、賛否同数の時のみ可否を決定する）

主 な 審 議 案 件		井上	西本	濱中	柴村	宮本	大松	池田	青木	藍川	井原
議 案	平成26年度宇多津町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成26年度宇多津町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成26年度宇多津町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成27年度宇多津町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成27年度宇多津町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成27年度宇多津町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成27年度宇多津町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成27年度宇多津町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成27年度宇多津町はなの森墓地公苑整備事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成27年度宇多津町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	宇多津町債権管理条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	地方教育行政の組織および運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	宇多津町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	宇多津町企業誘致条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	香川県広域水道事業体設立準備協議会の設置	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
同 意	宇多津町庁舎等改修事業請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	副町長の選任	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○

町政を問う

(一般質問の件名)

井上 弘 治	・新都市 臨海公園周辺の活性化 ・いじめ防止条例とその防止の取り組み (その他) 子どもの体力低下とその対応	5ページ
西 本 祐 子	・広域コミュニティバスの運行を ・小中学校の窓ガラスに飛散防止フィルム	6ページ
濱 中 保 夫	・公用車にドライブレコーダー設置を ・災害時のアレルギー対応の非常食は	7ページ
柴 村 賢 三	・A E Dに対する啓発と設置場所の見直し ・農業施策の方針と後継者の育成は	8ページ
宮 本 隆	・福祉避難所の設置は ・通学路に防犯カメラの設置を	9ページ
大松喜次郎	・徘徊高齢者の検索マニュアルの作成をしては ・公園の利用者を増やす対策を	10ページ
池 田 弘 昌	・地方創生事業と平成27年度重点予算 ・第一次産業の育成と振興策は	11ページ
藍川佳津樹	・地方創生への取り組み ・役場の人財と組織強化策は	12ページ
井 原 猛 雄	・四国最大水族館とJ R記念切符発売	13ページ

宇多津町議会は、議会改革の取り組みが評価され、このたび全国町村議会議長会から表彰されました。これは議会基本条例の制定を始め、コンパクト議会サミットの開催、各種団体との懇談会などの取り組みによるものです。今後とも、議会改革をさらに進め、皆さまとともに歩む「開かれた議会」を目指してまいります。





井上 弘治 議員

活性化事業

新都市 臨海公園周辺の活性化

アロハナイトの拡充や秋のイベントで商業施設のオープンを応援したい／まちづくり課長

宮本まちづくり課長 塩の町として栄えた本町は塩田所有者の理解のもと、国や県の支援を受けて土地区画整備事業で整備された成功例である。まちづくり団体などとの協議はこれからだが、アロハナイトの拡充や秋のイベントで商業施設のオープンを応援したい。具体的には秋の収穫祭。新しい事業としては香川短期大

問 当町の臨海公園周辺は、大きな賑わいポイント。臨海公園から南側その先には商業施設が立ち並んでいる。今秋にはイオンタウンができ、さらに賑わう。この現況は県内最大級の商業エリアとなる。新都市、臨海公園周辺のこれからの活性化事業についてうかがいたい。

学に協力いただきコスプレイベントを考えている。商工会青年部の井上議員にもぜひ尽力いただきたい。



子どもたちが遊ぶ臨海公園周辺

宇多津町が全国初

いじめ防止条例と

その防止の取り組み

いじめ防止等対策委員会の開催や情報交換、啓発活動を予定している／教育次長

問 インターネット ヤフーの検索で『いじめ防止条例』と検索すれば『宇多津町いじめ防止条例』がトップに出る。当町が全国で一番早くいじめ防止条例を制定した。この条例は、当町の宝である。当町はいじめ防止の先進地として『日本一住みやすい宇多津町』を堂々、全国に宣言し、いじめ防止の抑止力向上の取り組みを尋ねたい。

山下教育次長 いじめ防止等対策委員会は年1、2回の開催を予定している。また、いじめ事案調査委員会には調査を要しない限り開催しないが、情報交換は予定している。情報があつた場合には保護者を交えて話し合うほか、教職員に対する研修も実施している。今後はポスター、チラシなどでの啓発活動を予定している。



西本 祐子 議員

交通弱者対策

広域コミュニティバスの 運行を

単独でのコミュニティバスは経費が問題
近隣市町と協議できれば／まちづくり課長

問 高齢者の運転ミスによる事故が多発している昨今、町内コミュニティバスの運行を望む声が多い。また転勤族の中には自動車の運転免許を持っていない人もおり、転出入の多い本町では特に必要ではないか。幸い、丸亀のバスが宇多津駅前に乗り入れているので、町で少し負担して、路線を伸ばせないか。

宮本まちづくり課長 路線

バスの変更は国の許可が必要で、思っているほどたやすくはない。その代わりに、コンパクトな町の特性を生かして、県内初の交通弱者を対象としたタクシッチェットの配布を始めた。またコミュニティバスには5千万円という経費がかかり、今のところは考えていない。

再質問 そのタクシッチェットには利用条件がある。坂出・丸亀の広域バスを検討いただきたい。

宮本まちづくり課長 今のところ、協議予定はないと聞いているが、今後広域連合でこの話が持ち上げられれば、検討する。

小中学校の窓ガラス

飛散防止フィルムを貼れないか

学校施設の改修工事を進めていく
／教育次長

問 災害時に避難所となっている町内の小中学校では、耐震改修工事もひと段落した。先日徳島の地震では、小学校の窓ガラスが破損したと聞いている。そこで子どもたちが避難するために

も、また避難所として集まる人たちのためにも、窓ガラスに飛散防止フィルムを貼れないか。

山下教育次長 ロッカーやテレビなど物品の固定、窓ガラスの飛散防止、内外壁改修などの耐震関連工事は、学校ならびに財政当局と協議しながら順次実施する予定。

再質問 防災教育の一環として、地域の人たちやPTAでフィルムを貼っている学校もあるが。

山下教育次長 窓枠の老朽化により、フィルムを貼るだけでは対応できないところもある。



中 保夫 議員

交通事故防止

公用車にドライブレコーダー設置を

まずはマイクロバス2台に設置し、
今後の導入も検討していく／総務課長

上にも役立てたい。
さらに安全運転意識の向
さる。設置により交通事故の
トラブル発生リスクの回避
台に設置したいと考えてい
行しているマイクロバス2
的長距離で多数の乗員で運

亀井総務課長

まずは比較

設置を。

ひ、ドライブレコーダーの
トラブル時に役に立つ。ぜ
ライブ中常時録画してくれ
ダーを設置していれば、ド
そこで、ドライブレコー
5割が発生している。
約6割、死亡事故の約4
所であり、毎年人身事故の
最も事故の起こりやすい場
人の複雑に交わる交差点は、
傾向にあるが、道路と車と

問

最近の交通事故は減少

ては、ドライブレコーダー
規公用車購入の折に検討し
ていきたい。
なお、今後の導入につい

再質問

昨年12月から今年

べきである。
るとい目的からも設置す
者探しである。可視化をす
置されている。それは目撃
起き、その現場に看板が設
2月までに重大事故が2件



車に搭載されているドライブレコーダー

亀井総務課長

公用車と言

ってでも消防車、清掃車など
数十台はある。用途に応じ
て検討したい。

災害用備蓄

災害時のアレルギー対応の 非常食は

には対応できていない／危機管理課長

問

非常食として備蓄用の

で白米のほうがいいと言う。
皆が食べられるという意味
不要の混ぜご飯が多いが、
アルファ米では、おかずが

町では備蓄しているか。
ー対応の非常食は現在、本
意する観点から、アレルギー
しないで食べられる物を用

三芳危機管理課長

食物アレ

ルギーを引き起こすことが

お願いしている。
生活用品についてもあわせ
て準備していただけるよう
低限の食糧および飲料水、
避難するときに持ち出す最
ひとり自らが備蓄を行ない、
はできていないため、一人
準備している。しかし、全
てのアレルギー食物の対応
が見られた特定原材料に準
ずるものを避けた非常食は
去に一定の頻度で健康被害
篤な特定原材料7品目や過
症例が多いものや症状が重
明らかになった食品のうち、



柴村 賢三 議員

自動体外式除細動器(AED)

AEDの啓発と設置場所の見直し

町内27か所に設置され、イベントにも持参、使用研修も行なっている／危機管理課長

問 生徒が部活動中に倒れて心肺停止状態になった場合、1分1秒を争う救急処置が必要である。

AEDは町内の公共施設に設置されているが町内全体の配置も少なく、また、設置場所のバランスも悪い。住民の生命をいち早く守るためには、各コミュニティ1分館や24時間営業のコンビニエンスストアへの設置を求める。

公共施設以外に18か所、全行なっていない。心臓マッサージは体育の授業で教育をしているので、まずは心臓マッサージをしてその間にAEDを取りに行き、速やかに救急車を呼ぶという流れで対応する。

再質問 自治会・団体・学校などでの研修訓練・住民への啓発活動を頻繁に実施する必要があるが。

合田教育長 学校関係では先生は対応できるが、生徒に対してはAEDの研修は



保健センター1階に設置されているAED

三芳危機管理課長 坂出法人会の申し出で町内のAED設置箇所を調べたところ、

三芳危機管理課長 坂出法人会の申し出で町内のAED設置箇所を調べたところ、

農家の高齢化

農業施策の方針と後継者の育成は

できるだけ支援策を検討し、農業振興に協力していきたい／町長

問 農家も高齢化が進んでいる社会状況の中で農業を継続してくれる若者を育成しなければ農地を維持管理することができなくなっている。

しかし、宇多津町は農業振興地域の適用を受けていないため、国・県から農業事業に対する制度の適用や補助などの支援を得ること

ができない。
そのためには、本町独自の農業方針を立て農業環境を整備する考えは。

谷川町長 本町では農業委員会の意向により「農業振興地域」の指定を受けなかった。それにより農地転用が可能となり、宅地や太陽光発電用地として転用されている。農地面積も小さいため、今後は農地の集積や法人化も視野に入れ、町としてもできるだけ支援策を検討し、農業振興に協力していきたい。

再質問 本町のみ予算では事業規模が小さいため、県・国に強く支援を求めることは。

谷川町長 本町は、農振地域ではないので、国・県の補助は受けられない。

谷川町長 本町は、農振地域ではないので、国・県の補助は受けられない。

災害対策

福祉避難所の設置は

福祉避難所として3か所を指定／危機管理課長

問 福祉避難所とは「高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児等一般的な避難所では生活に支障をきたす」人のためにバリアフリー設備、介護福祉士、看護師などスタッフの配置などの特別な配慮がなされた避難所のことを指し2次避難所として位置付けられる。

宇多津町も一般の災害避難所は指定しているが、福祉避難所は指定しているのか。

三芳危機管理課長 一般的な避難所では支障をきたす人たちのために、安心して生活できる体制を整備した「保健センター2階」および「特別養護老人ホーム寿楽荘」「老人保健施設いきいき荘」の3か所を指定している。

再質問 福祉避難所の対象となる者の現況や、利用可能な施設の把握は。福祉避難所の担当職員は決めているのか。

三芳危機管理課長 危機管理課で要介護者名簿を作成し、万が一のときにはそれを利用し避難を行いたいと考えている。

また、「香川県老人保健施設協議会」「香川県老人福祉施設協議会」と災害時における要援護高齢者の受け入れなどに関する協定書を締結している。

名簿は民生児童委員、および自治会連合会、警察などにも渡している。担当職員は決めていないが、保健センターでは保健師が対応する予定。



宮本 隆 議員

子どもの安全

通学路に防犯カメラの設置を

防犯カメラ設置も課題をクリアする必要がある／教育次長

情報が悪用される、子どもを脅かす目的で第三者に使われるなどの意見もあるが、可能性の話をするときりがない。通学路の死角となる箇所を減らすためにも検討いただきたい。

山下教育次長 通学路は、できるだけ自動車や自転車の通行量が少なく、児童生徒が安全に通学できる道を指定している。防犯カメラ設置も一つのツールではあるが住民への設置運営の説明や設置場所によってはプライバシー保護などの課題をクリアする必要がある。

地方創生の資金の活用も含めて研究する。ちよつとした「声かけ」のようなおせっかいもお願いしたい。

問 子どもを狙った痛ましい事件・事故などが多発している。

犯罪などの未然防止、また事件・事故の発生時に迅速な対応ができるよう、通学路に防犯カメラの設置としては。



大松 喜次郎 議員

認知症対策

徘徊高齢者の搜索マニュアル

を作成しては

「認知症徘徊者対応マニュアル」
の作成を指示している／町長

問 認知症高齢者の行方不明が年々増えている。本町でも徘徊して保護された事態が発生している。一刻も早く無事に発見することができるような体制が必要となる。家族、行政および関係機関が一体となって対応をしている自治体もある。このような搜索行動マニュアルを作るべきではないか。

谷川町長 今後、認知症高齢者の徘徊・行方不明は増えると思われる。行方不明者を早期発見し、身体・生命の危機を回避するため「認知症徘徊者対応マニュアル」の作成を指示している。地域での見守りや声かけをお願いしたい。

三芳危機管理課長 行方不明の情報があった場合は、まずは警察に連絡いただくが、町では聞き取り調査も行なっている。

作成中の対応マニュアルでは危機管理課、保健福祉課、総務課、消防団で対応していく。また、防災無線、防災ラジオなども活用し、情報収集に努める。

再質問 マニュアルは、消防以外にも地域包括支援センターや福祉課などを含めた一本化した指示体制をしてほしい。

街区公園

公園の利用者を増やす対策を

地域住民と協議し、維持管理を行なっている／地域整備課長

問 新都市を始め多くの街区公園があるが、利用している人が少ないように感じる。日常的な利用が想定される身近な公園について、どのような公園にしたいかを話し合う「公園ミートイング」を実施する考えがあるのか。また、ビオトープがある浜七番丁の「4号公園」はいつも人がいないが、どのように考えているのか。

松井地域整備課長 公園の利用度については、目的・場所・地域によって偏りがある。「4号公園」のビオトープは香川大学による学術研究も進めており、27年度は近隣自治会などとも相談しながら、整備を進めていきたい。

再質問 アダプシヨンプログラムはどれくらいの頻度で実施をしているのか。

松井地域整備課長 整備や遊具の更新などを迎える公園については、整備計画の段階から、地域住民との協議や保育園・幼稚園などからの意見をいただいている。また8か所の公園では地域住民とのアダプシヨンプログラムによる協議を行ない、維持管理を行なっている。



池田 弘昌 議員

国からの交付金

地方創生事業と27年度重点予算

プレミアム商品券の発行や地方創生
先行型の事業拡大を行なう／町長

問

国会では地方創生が叫ばれ都会だけでなく、地方にも元氣になってもらう取り組みをそれぞれの町で検討し、提案してほしいとできたのが地方創生担当である。このことについて町の提案は。また、町の予算審議を今回の議会で行なうわけだが、27年度予算について、町が特別に力を入れている事業は。

谷川町長

国から地域住民生活等緊急支援のための交付金のうち、地域消費喚起・生活支援型は、プレミアム商品券の発行を行なう予定。また、地方創生先行型においては、新婚世帯家賃補助事業、不妊治療助成事業、また新都市活性化事業や

漁業・農業の振興策

第一次産業の育成と振興策は

育てる漁業、付加価値農業を

進めていきたい／町長

問

漁業については稚魚の放流や清掃活動や砂浜の復元など、様々な取り組みが行なわれているが、全町あげての活動には至っていない。また農業については環境整備が必要で、少ない耕地面積で採算の合う宇多津型の農業の指導と育成が重要。一次産業の育成について今後、町の取り組みは。

谷川町長

漁業振興策としては今までの捕るだけの漁業だけでなく、育てる漁業を進めていき、漁業組合とも協議を重ねていく。農業については、農地の集積や付加価値のある農業を進めていただくために、農業委員会とも協議を行ないながら、農業振興を図ってきたい。

アロハナイト事業の拡大を行なう予定である。

27年度予算の重点政策は、最も多額の予算を必要とす

る庁舎耐震等改修事業のほか防災・減災対策、教育環境整備などを考えている。

勇退あいさつ

1999年に議員に当選をさせていただき、同僚議員や執行部の方々に恵まれ、議員として活動をしてまいりましたが、今回の選挙には立候補をしないことにいたしました。議員在籍中には各種委員長や議長、坂出、宇多津広域行政務組合議長などを歴任させていただきました、私の人生の中では最も充実した生活を送らせていただきました。多くの人に出会い、学ぶことも多くありました。また、町民の皆様には温かいご支援をいただき、16年間にわたり私なりにまちづくりのお手伝いをさせていただいたことに感謝をしております。今後ますます宇多津町が未来永劫に栄えることを祈っております。ありがとうございました。



藍川 佳津樹 議員

総合戦略策定

地方創生への取り組み

本町に最もふさわしい事業を
戦略の中に組み込んでいきたい／町長

問 政府が示す「まち・ひと・しごと創生法」について、

地方は総合戦略を立てることになるが、町としてはどのようにアプローチする準備を整えるのか。また、そのための人材、組織強化も求められると思うが、総合的、計画的、具体的に実施するための総合戦略策定に關しての方向性をうかがいたい。

谷川町長 平成27年度において、

本町の人口ビジョンや総合戦略を策定する上で、本町に最もふさわしい

事業を戦略の中に組み込んでいきたい。基本的には、

「人口増加と地域活性化の推進」を基本的な考え方として、それにつながるメニューはすべてテーブルに載せた上で、本町の実態や特性、財政状態などを見極めた上で事業を集約したいと考えている。

再質問

例えば水族館誘致が奏功すれば、民間の資金調達や町が支援する必要のある環境整備事業も対象となるのでは。

谷川町長

町としては水族館に直接出資するとか運営に携わるといったことはないが、民間による水族館の建設が決まるようであれば施設用地の貸し出し、および周辺アクセス道路の整備などのインフラ整備、ソフト面での支援を実施する予定。本町のみならず中讃地域の活性化のためにもこの計画の実現が図れるよう、国にも支援を要望している。

管理職補強

役場の人財と組織強化策は

今後の検討が必要／統括監

問

前の質問に関連して、役場の人財の能力向上と組織強化が必然となる。そこで提言とあわせて質問とする。

- ① 新しく統括監の職位ができたが、組織の見直し、人事評価制度の成果と検証などを職責としては。
- ② 中途採用の管理職補強

- ③ 長期休職者の人数と期間、および給与支給の状況

亀井統括監

① 所掌する課の連絡調整や部門ごとの統括管理を行なっている。人材配置や人事評価についても今後検討したい。

② 優秀な人材を採用する上で、応募資格や募集方法、選考方法、あるいは待遇面など、様々な工夫が必要と感じており、今後の職員採用において検討する。

③ 長期休職者は2名で、8年～11年、ただし現在は無給。今後はこれまでのような病気休暇、病気休職、復職を繰り返す人を出さないようにしたい。

藍川議員は「人は財産」という思いから「人財」という表記にしています。



井原 猛雄 議員

浦島太郎のイメージ

四国最大水族館とJR四国記念切符発売

水族館は民間主導、町は周辺環境整備などで協力していく／町長

問

3月9日議会で、谷川町長が水族館誘致表明。3月10日衆議院予算委員会で玉木議員質問。答弁で高市総務大臣、太田国土交通大臣は民間資金活用で地域活性化にもつながると賛成表明をした。資金は町税ゼロ、大手建設会社60億円、交付税10億円、大手電鉄会社30億円と100億円の規模となる。

理想郷の老人は不老不死が願いだ。

水族館設置に託し、老人医療費無料化としたい。

谷川町長の意見をうかがいたい。

谷川町長

水族館計画の方

向性、新水族館の開発理念、展示テーマなどについては1月15日にコンサルタント会社から議会にも説明をした。「美しい水塊で宇多津町の未来を拓く水族館を誕生させる」という話であった。民間による運営会社の設立や周辺環境整備など、町として協力できるものは積極的に推進したいと考えている。

テーマ、イメージを浦島太郎にとのことだが、民間



主導の水族館であるため、話として聞いておく。

子ども議会

2月10日に恒例の「子ども議会」が開催されました。これは子どもたちに議会の仕組みを知ってもらい、自分たちの生活との関わりを学んでもらうため、毎年この時期に行なっています。

今年は町内小中学校から、議員と傍聴の総勢50人が参加しました。各学校ごとに、子どもたちが考えた「一般質問」を手作りのグラフや表、写真などを使ってわかりやすく発表しました。近い将来、選挙権が18歳に引き下げられますが、今日参加した子どもたちを始め、若い世代が政治を身近に感じてくれることを願ってやみません。

各学校の質問

- 《宇多津小学校》 移動図書館の開設を
- 《宇多津北小学校》 地域行事の活性化と魅力あるイベントを
- 《宇多津中学校》 宇多津町に巡回バスの運行とレンタサイクルの設置を

青木 義勝様
 先日は、子ども議会という貴重な体験をさせて
 いただき、ありがとうございます。
 ぼくは、先日の子ども議会、最後のあいさつをさせて
 いただいた。
 去年は、傍聴席で話を
 させてもらっていたけど、今年は、あいさつという
 責任のある仕事をさせてもら
 いました。
 先日のことを忘れず、これからの
 勉強などに役立てていきたいです。
 宇多津小学校児童会



表彰

この度、15年の永きにわたり町
 議会議員として活動された2人の
 議員が表彰されました。今後は、
 それぞれの立場で町に貢献したい
 と語っていました。



青木議長



池田議員

応援しようでえっ 宇多津っふ

〈子ども議員へのインタビュー〉

宇多津小学校 — 宇小（6名）

宇多津北小学校 — 北小（8名）

宇多津中学校 — 宇中（5名）

Q1. どうしてこの質問をしようと思いましたか。

（宇小） 読書をして本と関わる機会を増やしたいし、中高生の読書離れを改善したいと思って。

（北小） 地域行事に参加する人が少ないから、元気になってほしいと思って。

（宇中） 高齢者や体の不自由な方にも、町並みを眺めながら旧市街地を散策してほしいから。

Q2. いつから、どのようにして資料を作りましたか。

（宇小） 9月からアンケート調査や友だちの話を聞いて。

（北小） 12月から昼休みとか放課後の委員会活動で。

（宇中） 11月からインターネットや丸亀での巡回バスの情報を調べた。

Q3. 答弁をどのように思いましたか。

（宇小） 私たちのことを一番に考え、はっきりと答弁してくださった。

（北小） 前向きに検討してくれるので良かったが、特にギネスに挑戦してほしい。

（宇中） 町を動かすのは大変だと思った。

Q4. 町にどんな施設や場所があればいいですか。

（宇小） 移動図書館

（北小） 雨の日に遊べる場所・デパート・映画館・駅に食堂街

（宇中） 総合運動公園

Q5. 町のことで知りたいことは何ですか。

（宇小） 小学生がお手伝いできることはあるのか。

（北小） 塩の歴史について。

（宇中） 町ができるまでの歴史について。



傍聴児童の感想

（宇小・北小5年生）

- ・無理と言うのではなくて、違うことを提案していたのは学級会でも生かせそう。
- ・お金の問題や場所のことで、難しいことがあるのだなと思った。
- ・みんな、伝えたいという気持ちがしっかりあって、すごいな。
- ・しっかりと覚えて、はきはきと話すほうが、聞いている側は分かりやすい。
- ・それぞれの学校が提案したのは、しっかりとした理由があるのだなと思った。



4月26日(日)は 町議会議員選挙

町の将来を左右する大事な選挙です。
ぜひ、投票に行きましょう。

あとがき

桜の季節になりました。
前回の地方選は4年前。忘
れもしない3月11日に起こ
った東日本大震災の年でし
た。私たちの手で自然災害
を防ぐことはできませんが、
常に防災意識を持ち、あら
ゆる対策を講じることはで
きます。各ご家庭では話し
合いや準備はできています
か。

さて、議会だよりはこの
4年間、5名の委員を中心
に、皆様に読んでいただけ
る紙面づくりを目指してま
いりました。

今までのご愛読に感謝す
るとともに、さらに読み応
えのある内容を考えてまい
ります。

濱中 保夫

議会広報特別委員会

委員長 西本 祐子

副委員長 柴村 賢三

委員 大松喜次郎

委員 宮本 隆

委員 濱中 保夫